

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

リンテック株式会社

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (進捗アップデート)

LINTEC Corporation

現状分析

前中期経営計画「LSV 2030 – Stage 1」および 現中期経営計画「LSV 2030 – Stage 2」における実績値の推移・目標

	前中期経営計画 LSV 2030 – Stage 1			現中期経営計画 LSV 2030 – Stage 2		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	2027年3月期 目標
売上高（百万円）	256,836	284,603	276,321	315,978	317,000	315,000
営業利益（百万円）	21,584	13,796	10,628	24,562	24,000	25,500
営業利益率	8.4%	4.8%	3.8%	7.8%	-	8%以上
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	16,641	11,512	5,243	14,476	18,000	18,000
ROE 自己資本当期純利益率	8.2%	5.3%	2.3%	6.1%	-	8%以上
WACC 加重平均資本コスト※	5.2%	5.2%	5.3%	6.0%	-	-
PBR 株価純資産倍率	0.81倍	0.65倍	0.93倍	0.76倍	-	1倍以上
株価 (期末 調整後終値)	2,431円	2,165円	3,165円	2,756円	-	-

※ CAPM（Capital Asset Pricing Model）を用いた当社にて算出の加重平均資本コスト

© Copyright 2025 LINTEC Corporation. All rights reserved.

現状分析

■中期経営計画「LSV 2030 – Stage 2」初年度 (2025年3月期) 実績

【収益性の向上、資本効率の向上】

- 初年度の2025年3月期は、前中期経営計画「LSV 2030 – Stage 1」の最終年度の業績を大きく上回る過去最高の売上高および営業利益を達成
 - 半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ大幅に増加
 - 米国においてシール・ラベル用粘着製品の販売数量が回復
 - 売上高営業利益率は7.8%、ROEは当社が想定する株主資本コストを上回る6.1%の結果となった
- 剥離フィルム塗工設備や半導体関連粘着テープ塗工設備、工程紙塗工設備などの新規設備投資を実施
 - 設備投資額実績 (連結) 2024年3月期 205億円、2025年3月期 206億円
- 洋紙事業において、主力の封筒用紙の受注減少により極めて厳しい事業環境が続くと予想されることから、同事業の将来の回収可能性を検討した結果、2025年3月期において減損損失7,728百万円を特別損失に計上

【株主還元の充実】

- 利益分配に関する基本方針に基づき、2025年3月期の年間配当金は1株当たり100円とした
 - 配当性向 47.2% (中間 50円/株、期末 50円/株)
 - DOE (株主資本配当率) 3.2%

現状分析

【株主還元の充実】

●自己株式取得、自己株式消却

- 300万株または100億円を上限とする2025年2月7日から2025年9月30日までの期間での自己株式取得
→ 取得した株式の総数 1,082,000株、株式の取得価額の総額 3,092,135,300円 (2025年3月31日現在)
- 当社普通株式 4,200,000株を2024年11月29日付で消却 (参考：消却後の発行済株式総数 72,488,740株)

【サステナビリティ経営の推進】

●国内外の機関投資家・アナリストとのIRミーティング対応ほか、個人投資家向け会社説明会の実施

- 個別ミーティングなどで面談した機関投資家・証券アナリスト

2024年3月期活動実績 (延べ) 221社, 320人 → 2025年3月期活動実績 (延べ) 311社, 419人

●ESGへの取り組み強化

- 2030年までにCO2排出量を50%以上削減 (2013年度比)目標に対する実績

2023年3月期実績 39.7% → 2024年3月期実績 51.4% → 2025年3月期実績 53.6%

2024年度・2025年度と目標値をクリアしたため、新たな削減目標を設定し、取り組みを強化

●PBR (株価純資産倍率) については未だ1倍を下回る状況が続いている

- 2025年度3月期末時点 0.76倍

今後の取り組み

■中期経営計画「LSV 2030 – Stage 2」2年目以降 (2026年3月期～)

【収益性の向上、資本効率の向上】

- 引き続き、長期ビジョンの重点テーマおよび中期経営計画「LSV 2030 – Stage 2」の諸施策に取り組み、Stage 2 の最終年度経営目標である売上高営業利益率 8%以上、ROE 8% を目指す
- 既存事業の強化
 - 高性能マシンの導入や既存ラインのスクラップ&ビルドによる生産体制の最適化を推進
 - Stage 2 期間中に旧型10ラインを停止し、既存ラインへの集約を進め、資産効率の改善を図る
 - 洋紙事業の収益性向上のための構造改革として、抄紙機1台の停機 (熊谷工場K-1M/C) を決定
 - 固定資産や棚卸資産などの回転率改善
 - 事業部門ごとのKPIを設定し、採算性向上・収益改善につなげる
- 新製品・新事業の早期立ち上げ
 - Stage 1 期間中に完成の生産設備およびStage 2 初年度に完成予定の新規生産設備の本格稼働など
 - 剥離フィルム塗工設備 (4基)、半導体関連粘着テープ塗工設備 (1基)
 - 工程紙塗工設備 (1基)
 - EUV露光機用CNTペリクル量産体制構築
 - 半導体関連装置の受注増に対応するための生産体制強化

今後の取り組み

【株主還元の充実】

●利益配分についての基本方針を継続

- 2027年3月期までは原則として減配せず、配当性向 40%以上またはDOE 3%を目途に配当を行う
- 内部留保資金については、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用していく
 - エレクトロニクス市場の成長に向けた継続的な設備投資
 - 先端半導体後工程におけるパッケージング技術に関わる新たなテープや装置、独自プロセスの開発
 - EUV露光機用CNTペリクル量産体制の構築
- 自己株式取得については、手元資金を勘案のうえ、適宜必要性を判断し機動的に実施していく

【サステナビリティ経営の推進】

●積極的な株主・投資家との対話やIR活動の継続推進

- 国内外の機関投資家・アナリストとのIRミーティング対応ほか、個人投資家向け会社説明会の実施

●ESGへの取り組み強化

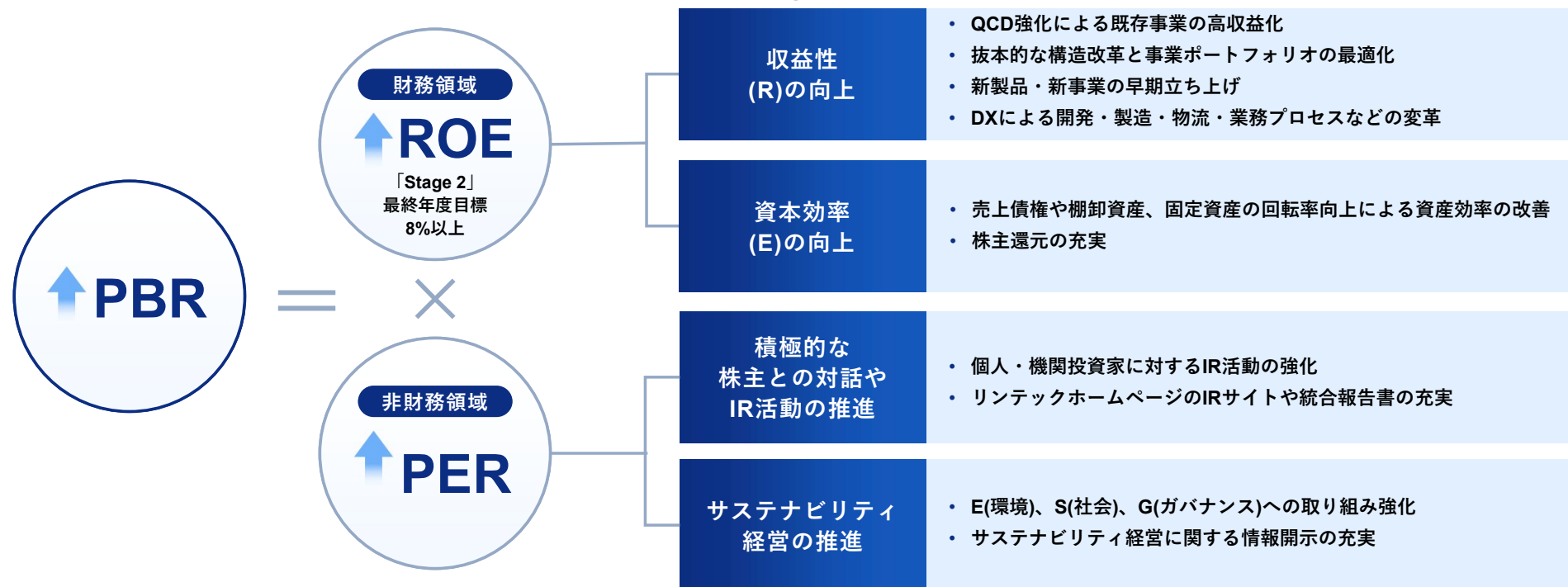
- CO2排出量の削減目標 (2013年度比)
 - 2027年3月期までに 67%以上の削減、2030年3月期までに 75%以上の削減に変更

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (進捗アップデート)

LINTEC Corporation

方針

長期ビジョンの重点テーマや中期経営計画「LSV 2030 – Stage 2」の諸施策に取り組み、継続的なPBR1倍超えを目指す



長期ビジョン 3つの重点テーマ

- 社会的課題の解決
- イノベーションによる企業体質の強靱化
- 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

持続的成長に向けたキャッシュアロケーション